

## 別紙 営農類型ごとの経営規模及び生産方式の指標

### 1 営農類型と経営指標の作成

本県の基盤産業である農業を発展させていくためには、多様な農業者一人ひとりが「農業所得の増大」を実感でき、産業として魅力ある農業の実現を図っていくことが重要である。

具体的には、他産業と遜色のない所得水準を確保し、地域農業を牽引する競争力の高い経営体の育成を推進していく必要がある。

そのため、地域農業を牽引する競争力の高い経営体を目指す際の参考指標として、目標とする農業所得の確保に向け、栽培面積や作目構成、労力、収益性などを検討するため、県内の実例等に基づく営農類型とそれぞれの経営指標を整理した。

地域農業を牽引する競争力の高い経営体向けの営農類型として、主たる農業従事者の農業所得が 450 万円以上となる農家及び農業法人を想定し 32 件の経営指標を作成した。

### 2 営農類型と経営指標の活用

これらの営農類型や経営指標の活用により、普及活動等における経営指導や支援を強化し、地域農業を牽引する競争力の高い経営体の育成・拡大を図る。

○普及活動やJA等の営農指導での提案

- ・生産性の向上等の個別経営体の経営改善や、個別経営体から法人化への発展、集落営農組織の法人化の場面など、経営規模の拡大や所得拡大に向けた具体的な提案として活用

○経営改善に向けた経営状況の分析

- ・農業経営体自らの経営改善に向け、現在の経営状況を分析する際の参考資料として活用

### 3-1 地域農業を牽引する競争力の高い経営体向けの営農類型別経営指標一覧

※主たる農業従事者1人当たりの農業所得 450 万円以上の農家及び農業法人を想定

No.	営農類型	適応地域				経営規模	農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
1	さくらんぼ+ぶどう+水稲 【果樹+水稲】	○		○		<b>経営規模 = 2.1ha</b> さくらんぼ = 0.3ha ぶどう (デラウェア) = 0.3ha (大粒系) = 0.3ha 水稲 = 1.2ha	<b>主たる農業従事者の農業所得 4,652 千円</b> ◇販売金額 20,343 千円 ◇農業所得 9,304 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 1,276 千円 ・補助的従事者 7 人	●軽労化技術(さくらんぼY字仕立) ○さくらんぼ5割、大粒系ぶどう5割を直販・贈答用で販売 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は4戸共同利用
2	さくらんぼ+りんご+水稲+飼料用米 【果樹+水稲】	○		○		<b>経営規模 = 5.1ha</b> さくらんぼ = 0.2ha りんご = 0.4ha 水稲 = 3.0ha 飼料用米 (直播) = 1.5ha	<b>主たる農業従事者の農業所得 5,426 千円</b> ◇販売金額 14,568 千円 ◇農業所得 5,426 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 821 千円 ・補助的従事者 2 人	●スマート農業技術(りんごロボット草刈り) ●軽労化技術(さくらんぼY字仕立、りんご朝日ロンバス方式) ○さくらんぼ5割、りんご3割を直販・贈答用で販売 ○水稲、飼料用米(はえぬき)は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用
3	さくらんぼ+水稲+なす+飼料用米 【果樹+水稲+野菜】	○		○		<b>経営規模 = 4.8ha</b> さくらんぼ = 0.3ha 水稲 = 2.8ha なす = 0.2ha 飼料用米 (直播) = 1.5ha	<b>主たる農業従事者の農業所得 4,978 千円</b> ◇販売金額 14,279 千円 ◇農業所得 4,978 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,348 千円 ・補助的従事者 3 人	●軽労化技術(さくらんぼY字仕立) ○さくらんぼ5割を直販・贈答用で販売 ○水稲、飼料用米は共同乾燥調製施設利用。主要機械は3戸共同利用
4	さくらんぼ+啓翁桜+水稲 【果樹+花き+水稲】	○		○		<b>経営規模 = 4.2ha</b> さくらんぼ = 0.3ha 啓翁桜 = 1.5ha 水稲 = 2.4ha	<b>主たる農業従事者の農業所得 4,625 千円</b> ◇販売金額 14,739 千円 ◇農業所得 4,625 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,671 千円 ・補助的従事者 5 人	●軽労化技術(さくらんぼY字仕立) ○さくらんぼ5割を直販・贈答用で販売 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は3戸共同利用
5	さくらんぼ+りんご+すもも 【果樹専作】	○		○		<b>経営規模 = 2.2ha</b> さくらんぼ = 0.6ha りんご = 0.8ha もも = 0.8ha	<b>主たる農業従事者の農業所得 5,539 千円</b> ◇販売金額 34,685 千円 ◇農業所得 16,617 千円 ・基幹的従事者 3 人 ◇支払労務費 1,654 千円 ・補助的従事者 9 人	●スマート農業技術(ロボット草刈り機) ●軽労化技術(さくらんぼY字仕立、りんご朝日ロンバス式栽培) ○さくらんぼ5割、もも3割、りんご3割を直販・贈答用で販売
6	さくらんぼ+ぶどう+西洋なし 【果樹専作】	○		○		<b>経営規模 = 1.8ha</b> 西洋なし = 1.0ha ぶどう (デラウェア) = 0.2ha (大粒系) = 0.3ha さくらんぼ = 0.3ha	<b>主たる農業従事者の農業所得 5,889 千円</b> ◇販売金額 35,742 千円 ◇農業所得 17,667 千円 ・基幹的従事者 3 人 ◇支払労務費 1,133 千円 ・補助的従事者 7 人	●軽労化技術(さくらんぼY字仕立) ○西洋なし3割、大粒系ぶどう5割、さくらんぼ5割を直販・贈答用で販売
7	りんご+すもも+水稲 【果樹+水稲】	○				<b>経営規模 = 3.0ha</b> りんご = 0.8ha すもも = 0.4ha 水稲 = 1.8ha	<b>主たる農業従事者の農業所得 5,946 千円</b> ◇販売金額 15,556 千円 ◇農業所得 5,946 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,285 千円 ・補助的従事者 3 人	●スマート農業技術(りんごロボット草刈り) ●軽労化技術(りんご朝日ロンバス方式) ○りんご3割、すもも1割を直販・贈答用で販売 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は3戸共同利用

No.	営農類型	適応地域				経営規模	農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
8	日本なし+水稲 【果樹+水稲】				○	経営規模 = 2.4ha 日本なし = 1.0ha 水稲 = 1.4ha	主たる農業従事者の 農業所得 6,054 千円 ◇販売金額 16,892 千円 ◇農業所得 6,054 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 3,284 千円 ・補助的従事者 6 人	○日本なし4割直売・贈答用で販売 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は4戸共同利用
9	ぶどう+啓翁桜+水稲 【果樹+花き+水稲】	○		○		経営規模 = 3.4ha ぶどう (デラウェア) = 0.2ha (大粒系) = 0.2ha 啓翁桜 = 1.0ha 水稲(直播) = 2.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 5,629 千円 ◇販売金額 14,478 千円 ◇農業所得 5,629 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,019 千円 ・補助的従事者 3 人	○大粒系ぶどう5割を直販・贈答用で販売 ○水稲は直播、共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用
10	ぶどう 【果樹専作】	○		○		経営規模 = 1.1ha ぶどう (デラウェア) = 0.7ha (大粒系) = 0.4ha	主たる農業従事者の 農業所得 4,556 千円 ◇販売金額 20,086 千円 ◇農業所得 9,111 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 1,299 千円 ・補助的従事者 5 人	○大粒系ぶどう5割を直販・贈答用で販売
11	ぶどう+もも+りんご 【果樹専作】	○		○		経営規模 = 1.3ha ぶどう (大粒系) = 0.3ha もも = 0.5ha りんご = 0.5ha	主たる農業従事者の 農業所得 5,966 千円 ◇販売金額 22,570 千円 ◇農業所得 11,932 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 275 千円 ・補助的従事者 2 人	●スマート農業技術(ロボット草刈り機) ●軽労化技術(りんご朝日ロンバス式栽培) ○ぶどう5割、もも3割、りんご3割を直売・贈答用で販売
12	すいか+水稲+飼料用米 【野菜+水稲】	○		○		経営規模 = 7.5ha すいか = 1.5ha 水稲 = 4.0ha 飼料用米 = 2.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 5,231 千円 ◇販売金額 27,695 千円 ◇農業所得 10,461 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 68 千円 ・補助的従事者 1 人	○すいかわずまき栽培、水稲高密度播種苗機械移植 ○すいかは共同選果場を利用 ○水稲は共同乾燥調製施設利用
13	えだまめ+水稲+啓翁桜 【野菜+水稲+花き】	○		○		経営規模 = 14.0ha えだまめ = 4.0ha 水稲 = 8.0ha 啓翁桜 = 2.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 4,630 千円 ◇販売金額 31,048 千円 ◇農業所得 9,260 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 558 千円 ・補助的従事者 2 人	○水稲は共同乾燥調製施設利用 ○えだまめは収穫機械等2戸共同、出荷調製は選果施設利用
14	トマト+たらの芽+水稲 【野菜+水稲】		○	○		経営規模 = 6.3ha 夏秋トマト = 0.3ha たらの芽 = 2.0ha 水稲 = 4.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 4,798 千円 ◇販売金額 29,105 千円 ◇農業所得 9,595 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払雇用費 2,387 千円 ・補助的従事者 2 人	○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用
15	トマト+水稲+飼料用米 【野菜+水稲】	○		○		経営規模 = 9.3ha 夏秋トマト = 0.3ha 水稲 = 5.0ha 飼料用米 = 4.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 6,261 千円 ◇販売金額 23,839 千円 ◇農業所得 6,261 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,681 千円 ・補助的従事者 3 人	○トマトは共同選果施設利用 ○水稲は共同乾燥調製施設利用 ○飼料用米は専用種利用
16	トマト 【野菜専作】	○	○	○	○	経営規模 = 1.3ha 夏秋トマト = 0.94ha 周年栽培 (環境制御) = 0.33ha	主たる農業従事者の 農業所得 4,539 千円 ◇販売金額 81,251 千円 ◇農業所得 9,078 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 14,336 千円 ・補助的従事者 19 人	●スマート農業技術(環境制御ハウス) ○共同選果施設利用

No.	営農類型	適応地域				経営規模	農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
17	ミニトマト+たらの芽+水稲+大豆 【野菜+水稲】	○	○	○		経営規模 = 8.2ha ミニトマト = 0.2ha たらの芽 = 1.0ha 水稲 = 5.0ha 大豆(委託) = 2.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 4,536 千円 ◇販売金額 24,520 千円 ◇農業所得 9,072 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 2,130 千円 ・補助的従事者 3 人	○ミニトマトは個別選果 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用 ○大豆は法人等へ特定作業委託
18	きゅうり+水稲+大豆 【野菜+水稲】	○	○	○		経営規模 = 5.3ha きゅうり(夏秋) = 0.3ha 水稲 = 3.0ha 大豆(委託) = 2.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 4,714 千円 ◇販売金額 14,692 千円 ◇農業所得 4,714 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 710 千円 ・補助的従事者 3 人	○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用 ○大豆は法人等へ特定作業委託
19	ねぎ+うるい+水稲 【野菜+水稲】		○		○	経営規模 = 4.3ha ねぎ(夏秋どり) = 0.5ha (秋冬どり) = 0.5ha うるい = 0.3ha 水稲 = 3.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 5,261 千円 ◇販売金額 23,209 千円 ◇農業所得 10,522 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 1,095 千円 ・補助的従事者 3 人	○ねぎは個選機械化体系 ○うるいは養成株1.0h ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用
20	アスパラガス+たらの芽+水稲 【野菜+水稲】		○	○		経営規模 = 8.4ha アスパラガス = 1.5ha たらの芽 = 2.0ha 水稲 = 5.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 5,004 千円 ◇販売金額 38,579 千円 ◇農業所得 10,008 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 8,291 千円 ・補助的従事者 7 人	○アスパラガスは共同選果施設利用 ○アスパラガス0.14ha、たらの芽0.33haを養成 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用
21	にら+うるい 【野菜専作】		○			経営規模 = 4.5ha にら = 4.0ha うるい = 0.45ha 他にら養成畑等	主たる農業従事者の 農業所得 6,478 千円 ◇販売金額 85,182 千円 ◇農業所得 25,910 千円 ・基幹的従事者 4 人 ◇支払労務費 15,719 千円 ・補助的従事者 16 人	○にらは春夏刈り、夏刈り、夏秋刈りの3作型 ○うるいは2年株を収穫・促成栽培
22	おかひじき+水稲+飼料用米 【野菜+水稲】	○		○		経営規模 = 4.6ha おかひじき(春夏播ハウス) = 0.2ha (夏秋播電照) = 0.2ha (春播露地) = 0.1ha 水稲 = 2.6ha 飼料用米 = 1.5ha	主たる農業従事者の 農業所得 6,270 千円 ◇販売金額 17,731 千円 ◇農業所得 6,270 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 688 千円 ・補助的従事者 2 人	○おかひじきはハウスで5回作付けする ○水稲、飼料用米(専用種)は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用
23	セルリー+水稲 【野菜+水稲】	○				経営規模 = 2.1ha セルリー(夏どり) = 0.53ha (秋どり) = 0.53ha 水稲 = 1.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 4,781 千円 ◇販売金額 20,976 千円 ◇農業所得 4,781 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,868 千円 ・補助的従事者 3 人	○セルリーはハウスで2作どり ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は5戸共同利用
24	りんどう+スノーボール 【花き専作】	○	○			経営規模 = 1.0ha りんどう = 0.8ha スノーボール = 0.15ha	主たる農業従事者の 農業所得 4,827 千円 ◇販売金額 15,699 千円 ◇農業所得 4,827 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 2,624 千円 ・補助的従事者 6 人	○りんどうは露地栽培、養成1年 ○スノーボールは養成4年、露地0.15ha
25	ダリア+水稲+飼料用米 【花き+水稲】			○	○	経営規模 = 7.4ha ダリア = 0.2ha 水稲 = 4.2ha 飼料用米 = 3.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 5,786 千円 ◇販売金額 19,945 千円 ◇農業所得 5,786 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,641 千円 ・補助的従事者 3 人	○水稲、飼料用米は共同乾燥調製施設利用。

No.	営農類型	適応地域				経営規模	農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
26	水稲+大豆 【水稲専作】	○	○	○	○	経営規模 =19.5ha 水稲 =10.5ha 大豆 =9.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 5,740 千円 ◇販売金額 27,170 千円 ◇農業所得 11,479 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 199 千円 ・補助的従事者 1 人	○つや姫は精米直接販売 ○大豆・飼料用米は共同乾燥調製施設利用
27	水稲+大豆+庄内柿+干し柿 【水稲+果樹+加工】				○	経営規模 =17.9ha 水稲 =9.9ha 大豆 =7.0ha 庄内柿 =1.0ha 干し柿 =40,600 個	主たる農業従事者の 農業所得 6,050 千円 ◇販売金額 31,948 千円 ◇農業所得 12,100 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 821 千円 ・補助的従事者 2 人	○水稲、大豆(2戸共同)の乾燥調製は自己完結 ○柿はL玉以上の4割を贈答。M玉は干し柿の原料。 ○干し柿加工は全自動皮むき機、温風乾燥機を導入
28	水稲+大豆+えだまめ 【水稲+野菜】	○	○	○		経営規模 =33.0ha 水稲 =19.0ha 大豆 =12.0ha えだまめ =2.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 4,924 千円 ◇販売金額 49,169 千円 ◇農業所得 19,695 千円 ・基幹的従事者 4 人 ◇支払労務費 177 千円 ・補助的従事者 5 人	●スマート農業技術(直進キープ田植機) ○水稲、大豆の乾燥調製は自己完結 ○えだまめは収穫機を使用し選果施設を利用
29	水稲+大豆+えだまめ+ねぎ 【水稲+野菜】				○	経営規模 =23.1ha 水稲 =13.0ha えだまめ(茶豆) =2.0ha 軟白ねぎ =0.1ha 大豆 =8.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 5,965 千円 ◇販売金額 38,639 千円 ◇農業所得 11,929 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 1,899 千円 ・補助的従事者 4 人	○水稲、大豆の乾燥調製は自己完結 ○えだまめは機械定 ○軟白ねぎは育苗ハウス後作
30	水稲+メロン+ストック+飼料用米 【水稲+野菜+花き】				○	経営規模 =8.0ha 水稲 =4.5ha メロン(トンネル栽培) =0.3ha (ハウス早熟) =0.1ha ストック =0.14ha 飼料用米 =3.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 5,643 千円 ◇販売金額 18,165 千円 ◇農業所得 5,643 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,217 千円 ・補助的従事者 5 人	○水稲、飼料用米(専用種)は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用 ○ストックはハウス早熟メロンの後作
31	繁殖・肥育一貫+水稲+飼料作物 【畜産+水稲+飼料作物】	○	○	○	○	飼育規模 繁殖牛 =50 頭 肥育牛 =85 頭 水稲 =10ha 牧草 =20ha	主たる農業従事者の 農業所得 5,503 千円 ◇販売金額 82,020 千円 ◇農業所得 11,006 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 6,490 千円 ・補助的従事者 4 人	●スマート農業技術(発情発見装置) ○繁殖牛の後継牛は外部導入 ○肥育期間22か月、年間42頭出荷 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。稲わらは繁殖・肥育牛使用に活用
32	繁殖牛+水稲+飼料作物 【畜産+水稲+飼料作物】	○	○	○	○	飼養規模 繁殖牛 =54 頭 経営規模 =34.6ha 水稲 =9.6ha 稲WCS =5.0ha 牧草 =20.0ha	主たる農業従事者の 農業所得 5,024 千円 ◇販売金額 58,441 千円 ◇農業所得 10,047 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 4,087 千円 ・補助的従事者 5 人	●スマート農業技術(発情発見装置) ●省力技術(簡易放牧) ○水稲は共同乾燥調製施設利用

※主な留意事項等の●は、スマート農業技術や軽労化技術等を導入